

所沢市立清進小学校

環境目標：環境を守ろうとする心を育て、主体的な関与を促す清進小学校

～ビオトープ活動を中心に環境を考える～



【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

夏休み・冬休みの2つの長期休みの宿題に全学年「エコライフデー&ウィーク」の取り組みを行った。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

長期休みにエコに関する宿題を出すことにより、環境について家庭でも考え、実際に行動している。

<主な教育効果：主体性の育み、環境保全の意欲の推進>

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

エコライフデーの取り組みを中心に、全校で節電に取り組んだ。使用しない教室では照明を消したり、冷房を消したりするなど、こまめな節電を行うことができた。また、適正温度、使用する際の温度の目安を提示することで、どのクラスも同じように環境維持活動に取り組めた。

全教職員・全児童が節電を心がけ、実際に行動に移した1年であった。

2 《みどり・生物多様性》

本校では、月に1回、児童や地域の方、学校応援団・教職員などがビオトープの維持や自然体験を目的として管理維持活動を行っている。毎月「おたかの森トラスト」代表の足立さんにご指導いただきながら、人工林の手入れや水の入れ替え、木の剪定の作業などを参加者が協力して行った。低学年～高学年と幅広い学年が参加し、大人と児童合わせて20～30人で幅広く環境維持活動に携わっている。ビオトープ活動で行われる体験学習を通して、自然環境に対する意識を高めることができた。



また、今年から、活動を学校全体に周知するために「ビオトープ通信」の発行、ビオトープ前日に前回の参加者の感想発表を行うことで、参加人数が増加した。このことから、学校全体を通して、環境への関心が高まっているといえる。さらに、低学年のうちから、保護者の方と一緒にのこぎりで木の剪定を行うことで、環境の守り方を実践から学ぶことができています。

4学年の総合的な学習の時間「自然博士になろう」では、自然環境への興味を高める一環として、ビオトープだけでなく校外のおたかの森でも体験学習を行った。2年連続の取り組みなので、これからも続けていき、4年生で必ず自然環境にかかわる活動に参加し、児童の意欲を高めていく。

3 《資源循環》

教職員・児童共にごみをしっかり分別することを意識して生活し、古紙回収を実施している。また、夏休みの自由課題に「3R啓発ポスター」

を入れ、児童が資源循環について考える機会を設けた。

